

RIKKYO ADVERTISING CLUB OB SOCIETY

立教大学広告研究会OB会報

発行所 立教大学広告研究会OB会
〒104 東京都中央区銀座8-14-5 TEL(03)3541-5405

第2号

発行人 山元 清朗
編集人 黒岩 俊隆

通巻2号 1995年5月発行 (毎年2回発行)

平成6年度OB総会

11月17日、平成6年度OB総会が母校にほど近い豊島区立労働福祉会館にて開催されました。久方振りの総会も40年間に及び各年代のOBの方々、及び現役を含め88名の出席を得ることができました(出席名簿参照)。

総会は、山元OB会長によるこれまでの経緯の総括及び事業年度としての平成5年度事業報告(平成5年10月1日〜平成6年9月30日)で始まりました。山元OB会長は、現状を「40年の節目を経て今は、今後に向けてOB会の体力及び活動の基盤固めの時期」と位置付けられ、基盤づくりの第1歩として、会員相互の交流メディアとすべくOB会名簿の発行及びOB会報の発行を今年度の2大事業と

し、それぞれ平成6年6月、10月に現在のOB会の体力なりの形で実現の運びとなったこと、そして何よりも増して、OB会が一層充実するには、OB会員によるOB会費のこぞっての自動引落システム参加実現が非常に重要なことである」との総括がありました。ゼロからスタートしたOB会費の自動引落システムは現在七五八名中、二五八名に達しており今年度の実績を更にご自分を先頭にして推し進めたいと強く表明されました。

山元OB会長の熱意の総括を受けて、OB会計担当の大内先輩から平成5年度会計報告、戸田副会長の監査報告と続けて発表されました(会計報告の詳細は後述参照)。

このような平成5年度の事業報告

の後、次年度の事業計画についての討議に移り、事務局より継続事業として、OB会報の年2回発行、キャンプストア訪問及び名簿の整理と補完、更に新規事業として、OB会員の親睦交流の機会づくりとして夏のイベント開催などの計画が報告され、ご出席のOB会員の方々より、OB会長の言われる如く、正に基盤固めの時なので、これらの事業計画はぜひ継続し、充実してもらいたい」との趣旨の発言が続出し、基本的な了解が得られました。心地好い緊張感の内に進行した総会も、次年度事業計画案の了承を受けて閉会、引き続き同じ会場での交歓会の一時となり、現役を交え記念撮影など、何時もの広研OB会らしい雰囲気に戻り、盛会のうちにとどこおりなく終了しました。



会長挨拶

大内道雄、谷 恭司、山元清朗、山本信吾 ▼36年度 梅津安親 ▼37年度 伊藤隆一、大富健司、中島 修 ▼38年度 市村泰男 ▼40年度 菊池三三、窪野 徹、西島 徹 ▼42年度 田中保彦、柳沼大三郎 ▼43年度 鈴木 正 ▼44年度 黒岩俊隆 ▼45年度 石井美行、及川哲夫、大澤 誠、金塚秀美、木邨邦彦、谷口暉夫、荻谷伸一、平井貴美子、堀 邦雄、村岡治夫、村松優子

▼46年度 生稲栄次、橋本憲夫 ▼47年度 中田 透、箕輪正則 ▼48年度 柴田 健、松田光雄 ▼49年度 岸 秀雄、越川 茂、久高健寿 ▼50年度 高岡秀夫、峰岡恒之、渡部米夫 ▼51年度 松川哲夫 ▼52年度 高橋明裕 ▼53年度 佐々木浩司、近田和典、磨山弘太郎 ▼57年度 小出隆造、舌崎士郎 ▼59年度 阿部純子、黒羽聡也、曾原 健、村上欣也

平成元年度 山田裕司

〈現役〉

▼4年 高山尚三、船越通恭、吉野 晋 ▼3年 飯川貴広、大澤深雪、大山 恒、岡崎 裕、神浜亜希子、神戸絹子、佐々木亮、相馬比呂美、高野義子、田尻和子、棚部久美、中野雅士、浜野正司、平本賢司、藤田純代、星僚太郎、古田晶子 ▼2年 高須亮一、田中 亮太郎、長井洋輔、山田あずさ、吉田達哉、吉村珠美

出席者名簿

▼31年度 加藤貞夫、勝呂哲朗
▼32年度 菅頭 裕、小林 章、室屋 至 ▼33年度 戸田 茂
▼34年度 川上 厚 ▼35年度

▼1年 黒沢 亘、田中有人、平田純一

以上29名

サマーフェスティバル

キャンプ・ストアイン銀座

・日時 7月21日(金) 午後6時〜9時30分
・会場 銀座十字屋ホール(銀座松屋正面・十字屋9階)
・会費 5,000円(子供無料)
・メニュー 生ビール飲み放題、ウイスキー、ソフトドリンク

ク等各500円。
*地方名産の寄付をお待ちします。
オードブル(各種料理)食べ放題。
音楽 ハワイアン生バンド演奏(リクエスト、ダンス可)



うなぎ・割烹 神田川

昭和44年卒 黒岩 俊隆

本店 〒104 東京都中央区銀座8-14-5
TEL(03)3541-5401 FAX(03)3541-5409

TOSCO TRADING INC. TOGCO

昭和44年卒 渡辺 克己

〒150 東京都渋谷区神泉町9-5
TEL(03)3496-4421 FAX(03)3477-0614

有限会社萩谷クリーニング商会

昭和45年卒 萩谷 伸一

〒150 東京都渋谷区広尾5-19-10
TEL(03)3443-0697

オフィス・ヤマダ

昭和44年卒 山田 雄策

〒190 東京都立川市西砂町1-1-6
TEL(0425)31-3017

キャンズ・フィルム株式会社

昭和45年卒 堀 邦雄

〒107 東京都港区南青山2-14-12
TEL(03)3405-1705 FAX(03)3405-1705

株式会社コクサイクリエイティブセンター

昭和45年卒 及川 哲

〒100 東京都千代田区一番町9-8 ノザワビル
TEL(03)3264-1896 FAX(03)3234-2907

アウトフット株式会社

昭和45年卒 谷口 暉夫

〒107 東京都南青山6-3-13-804
TEL(03)3498-3345 FAX(03)3498-3017

三興魚類株式会社

昭和46年卒 生稲 栄次

〒105 東京都中央区築地5-2-1 中央卸売市場内
TEL(03)3542-6866(代表) FAX(03)3545-6384

株式会社藤原商店

昭和46年卒 藤原 秀三

〒160 東京都新宿区新宿2-9-18
TEL/FAX(03)3351-0123

鉄道広告株式会社

昭和47年卒 箕輪 正則

〒101 東京都千代田区神田松永町1 松屋ビル6階
TEL(03)3258-0338(代表) FAX(03)3258-0345

鳥やき串ん坊

昭和49年度 久高 健寿

〒150 東京都渋谷区宇田川町30-2ケゼットハウスB1
TEL(03)3461-3567

COMICから就職情報まで。編集制作

有限会社キットハウス

昭和52年卒 高橋 明裕

〒141 東京都品川区東五反田5-21-13-502
TEL(03)3440-5792 FAX(03)3440-5684

座談会 VOL.2 キャンプストアの思い出

出席者
成田史代（故成田義輝氏
昭和29年卒 夫人）
勝呂哲郎（昭和31年卒）
赤池達也（昭和32年卒）
戸田 茂（昭和33年卒）

事務局
黒岩俊隆・生稲栄次・久高健寿

司会 森永からお話しがあったから、開店までに準備が大変だったと思いますが、準備、運転資金はあったんですか。

赤池 お店の外装は森永の担当者と業者との立ち合いでアウトラインをつくり、内装に関しては我々に一任されていました。お店の壁をヨシズ張りにしてそれを白く塗り、正面に森永キャンプストア、横に立教大学広告研究会、看板をつくったのが七月に入らなると前頃だったね。

戸田 その業者はイサミヤさんでしたね。イサミヤさんのトラックで資材を運ぶので、各校一人ずつ荷台に乗せられて、館山へ行ったのを覚えていますが、そのころは道路が砂利で、ホコリだらけになって、明治の保田、早稲田の勝山の順で荷をおろし、立教の館山が一番最後でした。

赤池 当時は什器・備品は森永から貸してもらったんですよ。原材料は自分で調達しましたが。

勝呂 最初はジュース、ビスケットなどの試供品を色々頂き、東京まで取りに行き、催し物などでもういふん使いましたね。

赤池 私はお金に

全く無頓着で、もっぱら什器・備品の点検やら、藤井君といっしょに、色々なポスターを書いたりして、お金に関してはマネージャー（勝呂）に全部まかしていましたね。

勝呂 当時で三万円位個人的にオヤジから借用証を書いて、もって行きましたが、収支はほとんどには行かなかったが、少し返した記憶があります。

戸田 我々が三年目で三十万位の売り上げがありましたよ。

キャンストコンテストの優勝カップで祝賀会
営業期間はどの位でしたか。
勝呂 七月の十五日頃から八月の十五日位でした。

最初の頃はあまり天気がよくなかったのを覚えてます。それで毎日、天気、お客さんは何人で、売り上げいくらと日誌をつけていましたよ。だいたい、あの頃喫茶店でお茶を飲むなんて人は、あまりいなかったよ。

赤池 まあパリパリで、パリパリでしたね、有名な旅館の娘ユリちゃんとその友達や、



第1回キャンプストア

館山に別荘をもっていた人がよく来てくれました。

司会 広研の各大学とのコンテスト、たとえば学生広告展のようなものはあったのですか。

赤池 キャンプストアでのコンテストがありました。

勝呂 それは売り上げばかりでなく、店内の装飾接客態度、衛生状況、経営のポリシーなどを、森永の社員が秘密裡に審査・採点して順位を決めましたね。

戸田 菅頭さんの時に優勝しました。

赤池 そう、その器みたいな形をしていて、それにビールやお酒を注いで祝賀会をやり、飲みすぎてひっくりかえっちゃって。

戸田 皆んなで、回し飲みでした。

勝呂 平井先生もおみえになりました。

戸田 あの頃は皆んなよく飲みました。

赤池 金沢、菅頭、藤井君の三人がすごかったですね。

戸田 藤井は酒で肝硬変になって後に死んでしまいました。赤池さんにはデザインの影響をうけようと思っていましたね。

赤池 いやいや私の方が彼に影響されてましたよ。

“スイートガール” 白川由美も来店
戸田 森永のスイートガールがいて、お店に来ましたね。

勝呂 白川由美も来ましたかね。

戸田 我々の時に来ましたよ。あの頃でもきれいだという印象が残っていますね。

赤池 私はあの頃はユリちゃん専門でしたからね（笑い）。

聞き手 現在地元で、消防団副団長、商工会理事、法人会副支部長、警察官友の会副会長等（他にもいろいろありますが）で活躍ですが、今後の課題は。

加藤 地域に密着して、専門店しかできないことをきちんとやるのが大切でしょう。

今後の課題は街づくりですね。家訓とも言うべき二宮尊徳先生の教えに「時間の余計は社会奉仕しなさい」とあります。お茶の販売は従業員がしっかりやってくれますから、社員が外で「先日は社長さんにお世話になって…」と言われるような、そんな生き方を今後もしていきたいと思っています。

浜辺でフオークダン
スをやりに、本所高校の女学生が臨海学校に来ていて、先生も一緒に夜、砂浜でキャンプファイヤーをたいてそのまわりでフォークダンスをやったよ。

戸田 本所高校に借りたレコードを向島の方へ返しにいったのを覚えてますよ。

赤池 僕も一緒に行っちゃったよ。

戸田 行きましたよ。

コッペパンとトマトがキャンスト定食
司会 そうですか、これが我々の時の穴掘り、水まきのルーチンですかね。これが非常に厳しくて体育会系のごりがありましたよ。

赤池 そういうことは全然ありませんでした。朝のマラソンはありましたか？



第1回キャンプストア店内

戸田 朝礼で国旗掲揚などありましたね。

赤池 我々は全然なかったよ。本場に「自由の学府」だったからね。

司会 開店式とか閉店式なんかはあったのですか。

赤池 式のたぐいは全然やらなかった。今日は開店だとい、皆んなで、シルバークレイみたいなポロシャツを着て、変な帽子をかぶって待っていたけど、お客さんは全然来なかったね。

勝呂 ああ、あの頃は全員が皆んな全週参加だった。そうじゃないと手が全く足りなかった。

赤池 交替しようと思っても交替する人がいなかったね。

戸田 私なんか最初の時は半分のもりが結局、帰るに帰れず全部参加してました。

赤池 あの頃にそんな人数がいればコッペパンばかり食べずに済んだのだが。金のある時は豪華に肉や魚などばかり食って、いざとなるとコッペパンとトマト一個が定食だった。

(次回に続く)

方もおり、現役当時、とりわけキャンプストアを中心としたエピソードやカラオケなどで、遅くまでとても楽しい時間を過ごしました。他の代の先輩方や後輩の皆さんも、たまにはこのような集いを開いて現役時代の話に花を咲かせてみてはいかがでしょう。

元気で 広研人

取材・生稲栄次46年卒・久高健寿49年卒
特別参加・生原正大40年卒

小田急線に乗って、厚木をすぎると、「茶加藤」という看板がこちらに目に付きます。それが37年キャンプ・ストア店長、38年卒の加藤さんの店だと知り、お伺いしていろいろなお話を聞く機会を得ました。

“十一分”の気持ちで商いを

聞き手 平成2年の9月に先代の後を継いで、9代目加藤宗兵衛を襲名されたそうですが、屋号の「茶加藤」の由来は。

加藤 「茶加藤」という屋号は、実はお客様がつけてくれた名前なんです。創業が享保13年（1728年）で、武田の出身で、この地を開墾した時、たまたま山田・山田・



加藤 宗兵衛氏

加藤・加藤と家が並んで、それで、間違わないように「お茶屋の『茶加藤』さん」と呼ばれるようになったのです。

聞き手 ①のマークがありますが、何か意味があるのですか。

加藤 この商標には「商売の心得・戒め」が込められています。「十（とお）で元々、十二分（じゅうにぶん）ではいただき過ぎ、十一分（じゅういちぶん）の気持ちで商いを続けなさい」という意味です。

聞き手 社員の方はどのくらい、いらっしゃるんですか。

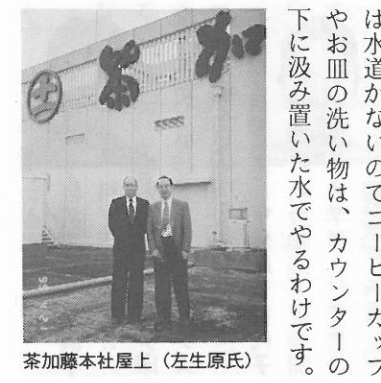
加藤 本社・営業所を含め13店舗で70人くらいです。社員が入社すると、定年までよほどの事情（長男で家を継ぐとか）がない限りやめません。まとめて社員旅行がでないの、勤続10年とか20年で旅行券をプレゼントし、社員の方でも、あと何年、あと何年と楽しみにしていますよ。

原則として、残業はさせません。社員にも、また奥さん・子供にも失礼でしょう。

聞き手 お客様の層は。

加藤 3万人の顧客リストを持っていますが、先代から、子・孫とファンで「茶加藤」で買ってもらっています。

また、「イトーヨーカドー」の伊藤雅俊さんが、何でお宅は九代も続いたか聞きに来られた事もありますが「伊藤社長のような初代社長と、九代目の私では、考えることが違いますよ。」と申し上げました。



茶加藤本社屋上（左生原氏）

聞き手 40年卒の生原（正大）先輩がお見えになったので、こちらでキャンプストアの話をお伺いしたいのですが。一番印象に残っていることは。

加藤 店長時代に水道の引き込み工事をしたことですね。それまでは水道がないのでコーヒーカップやお皿の洗ひ物は、カウスターの下に汲み置いた水でやるわけです。

キャンスト売上目標 80万円を達成
聞き手 40年卒の生原（正大）先輩がお見えになったので、こちらでキャンプストアの話をお伺いしたいのですが。一番印象に残っていることは。

加藤 店長時代に水道の引き込み工事をしたことですね。それまでは水道がないのでコーヒーカップやお皿の洗ひ物は、カウスターの下に汲み置いた水でやるわけです。

「ケフカエレヌ」の電報
聞き手 伊勢原という遠隔地から、学校にかよわれてのご苦労はありませんでしたか。

加藤 11時23分の最終電車で帰るときは、生原君なんかよく歌舞伎町で時間まで付き合わせたものです。

帰れない時は「ケフカエレヌ」と電報をしてね。小田急グループというのがあるって、他の大学の学生とみんな仲間で、寝ていても、だれかが起こしてくれて、乗り越すことはありませんでした。

聞き手 最後にこれからのOB会に一言頂けますか。

加藤 伊勢原の山に土地があるから、山荘でも作って休みの日にはゆっくりしたい。土地は提供するので、広研のみんな、持ちよって山荘でも建ててほしいな。

聞き手 我々が、突然お伺いしたにもかかわらず、地方選挙の忙しなさなかに、こころよく取材させて頂いたことに深く感謝いたします。また、キャンプストアの資料をきちんとまとめたアルバムを2冊、見せて頂き、その几帳面さには、生原先輩ともども大変驚きました。



茶加藤店内にて

新OB紹介



◆石井 洋光
経済学部・経営学
科/製作局長/㈱
アトラス 「みな
さん、こんにちは。関西にお越
の際はぜひご連絡を。」



◆岩田 和代
文学部・日本文
学科/会計局長
「4年間広研にいた
ことは、私にとっても有意義
なことでした。」



◆小川 誠一
文学部・心理学
科/研究副委員長・
企画局長 「カラ
オケ関連企業の株式会社第一興商
にこの春入社いたしました。」



◆岩見 葉月
文学部・日本文
学科/運営副委員長
「今後も現役部員を
暖かく見守って下さいませようお
願ひします。」

現役だより



委員長・長井洋輔
本年度の抱負
として、第一に
部員確保が挙げ
られます。年々部員が減少して
ますが、少しでもベクトルの方向を
上昇させることに努力いたします。
第二に隔りができがちなキャン

に就任してからは、優れたリーダー
シップの下、我々も良くとまり、
広研の発展期の基礎を築くと共に、
現在の同期の集いの基礎が出来たも
のだった。少なくとも40年度卒以前
では、我々の代が一番まとまりが良
いと自他共に認められていると思
うが、これも君のおかげであった。

卒業後、10年位は地方勤務者も多
く、仲々皆が揃うチャンスは少な
かったが、次第に年一回はゴルフでも
ということになり、最近山形在住
の田中君の所まで遠征したりして
いた。ゴルフでは大体ベスグロは君が
取るが多かったが、最近ようやく
追いつきかけていただけにこれも
残念である。去年初めて声を掛けて
頂いた昭和49年代を中心とした広研
OBゴルフ会に出席できなかったこ
とも大変残念がっていたものである。

酒も良く飲んだ。歌も良く歌っ
た。
とにかく、さりげない気配りがキ
チンと出来る人だった。



◆高山 尚三
経済学部・経営学
科/委員長・催物
科/東京コココーラ
ポトリング 「学生時代、自分達
のキャンブストアを創り上げる事
が夢でした」



◆船越 通恭
経済学部・経営学
科/営業副委員長
/京浜百貨店
「年代幹事となりましたのでよろし
くお願いいたします。」



◆川端 宏美
文学部・英米文学
科/出版局長
「この春から、立教
大学の職員一年生になりました。」

次に新入生の状況ですが、現在の
ところ男女合わせて22名が入部
いたしました。今後まだまだ増える
と予測しております。
最後に本年度の年間予定として
して、第42回キャンブストアは7
月23日〜8月26日の計35日間
営業いたします。また第11回ミ
ス立教コンテストは11月5日
に行なう予定です。部員一同、各
社に協賛のお願いに廻っております
が、不況のあおりで苦戦して
おります。OB、OGの皆様のお
世話になることも多々あると思
いますが、その節はよろしくお願
ひいたします。



天童カントリーにて

OB会やCSの在り方についても
よく心配していた。

我々が卒業30周年(平成2年)を
記念して同期会を兼ねてCS訪問を
計画し、先輩にも声をお掛けした
ところ、たちまち30名近くのメン
バーが集まったことがあり、この
ころOB会の再興が具体的に君の
頭の中に浮かんでいたようである。
それがCS40周年の記念パ
ーティーに繋がり、ここで実行委員
長として腕を振るうことになった
ことは、皆様もご承知のことであ
る。名簿の発行、今回で第2号に
なる会報の発行、7月のサマー
フェスティバルの開催等々と計
画を実行に移し、まさにこれから
OB会としての在り方の真価が問
われる大事な時に舵取りを失
ってしまいました。

個々の思い出については、余
り多くのことがあり、語り切れ
ない。車、野球、酒、オーディ
オ、カラオケ、ゴルフ等々ど
れもプロはだして



◆吉野 晋
経済学部・経済学
科/店長・PR
/大阪シーリング印
刷 「新しいOBとしてキャン
ブストアの発展を見守っていき
ます。」



◆竹尾 香代子
社会学部・産業関
係学科/営業会計
「営会としてのキャン
ブストアは忘れたいものでは
ないです。」



◆吉本 正男
理学部・化学科/
合宿長/マンセン
協和 「第40回
キャンブストアをやっていま
す。OBとして頑張ります。」



◆高須亮一
本年度もOB
の皆様長い歴史と伝統を受け
継ぎ、例年通り7月から8月の約
一ヶ月間、第42回立教学生キャン
ブストアを営業いたします。館山
市と立教広研との深い結び付き
は、これまで41年間にわたって
キャンブストアを通じ、OBの皆
様が築き上げて来られたものと、
我々現役部員も大変感謝して
おります。

今年も例年通り、館山商工
会館のイベント、花火大会、あ
わ踊り等、様々な催物を予定
しております。OBの皆様、ぜひ
今年も館山に、そしてキャン
ブストアにいらして下さい。

あった君の思い出が今後いろいろ
機会に浮かんでくるだろうことを考
えるとたまらない気持ちになる。
嬉しかったことは、お子様が本
当に立派に育っており、特に一朗君
から「親父を自慢に思っている。親
父に少しでも近づきたいと努力して
いる。」といわれた時は、本当に嬉
しかった。
想い出は尽きないが、同期の柱を
失った今、同期を更にまとめて行
くと、OB会を今後立派に育てて
行くことを誓って筆を置きたい。

ヤマゲンさんを偲んで

OB会副会長(事務局局長)
黒岩 俊隆 44年卒

ヤマゲンさんと最初にお会いした
のは、三年前、現役よりCSの補修
工事の相談を受けてOB会としての
対応を協議する集まりでした。お名
前だけは存じておりましたが、実際
にお会いして、現役、OBを問わず
立大広研そのものに、大変な熱意を
お持ちの会長だと感じました。以後
読売広告社の常務という激務の間
をぬって立大広研OB会発展の基盤
となるようOB会費徴収、名簿の作
成、40周年記念パーティー、会報の
発行、CS訪問、OB総会等々常に
前向きで真摯な姿勢で立ち向かう
ヤマゲンさんを拝見して、引き込ま
れるようにOB会事務局の一員とし
て、お手伝いさせていたたくように
なりました。

ヤマゲンさんは、三年前に体調を
くずされ、時には病院から会合に出
席されるような状態でありながら、
自ら進んで様々なアイデアを提案
されて、病魔と闘いながらもOB会
をまとめてこられました。その気概
にただただ感服するばかりでした。
私共の店に御家族で来られた時の
ヤマゲンさんはやさしい御主人であ
り、お父様であり、いつもほのぼの
とした雰囲気のある素敵なファミ
リイだと感じました。
奥様とは館山のCS訪問の折、店
の前から城山公園景色をしながら
歩いた思い出があり、明るいお
美しい笑顔は今でも忘れられませ
ん。

会計報告

平成5年度会計報告(平成5年10月1日~平成6年9月30日)

(収入)		(支出)	
前年度繰越し	1,059,532	引落手数料	79,189
会費	459,000	OB会名簿作成費用	361,839
(自動振替137名、振込16名)		郵送代	250,500
名簿広告代	170,000	(含、振替依頼書返送用切手代)	
(10,000×17名)		供花代	30,206
利息	940	(成田義輝氏、石塚和子氏)	
		雑費(CS周辺挨拶土産)	8,240
小計	1,689,472		729,974
次年度繰越し			959,498
合計	1,689,472		1,689,472

「ミス立教コンテスト」は、毎年
立教祭の最後を飾るイベントとし
て定着し、昨年も雨天のなか、千
数百名の観客を集めることができ
ました。不況にもかかわらず20
数年の協賛を得、例年以上の豪華
品と盛り上がりを見せ、OBの皆
様の御協力に感謝いたします。毎
年立教祭の最後を飾るイベントと
して定着し、昨年も雨天のなか、
千数百名の観客を集めることが
できました。不況にもかかわらず
20数年の協賛を得、例年以上の
豪華品と盛り上がりを見せ、OB
の皆様のお協力に感謝いたしま
す。立教祭も再開後10年目を迎
えました。OBの皆様もぜひ足を
お運び下さい。



ミス立教コンテスト風景



クラブ店

おことわり
今号発送直前に山元OB会長の
訃報に接しました。生前のご活
躍を偲びそのまま発行させて頂
きます。別紙追悼号をご参照下
さい。

席されるような状態でありながら、
自ら進んで様々なアイデアを提案
されて、病魔と闘いながらもOB会
をまとめてこられました。その気概
にただただ感服するばかりでした。
私共の店に御家族で来られた時の
ヤマゲンさんはやさしい御主人であ
り、お父様であり、いつもほのぼの
とした雰囲気のある素敵なファミ
リイだと感じました。
奥様とは館山のCS訪問の折、店
の前から城山公園景色をしながら
歩いた思い出があり、明るいお
美しい笑顔は今でも忘れられませ
ん。
大学・広研での同窓とはいえず、大
先輩の方々と接する機会がなかつた
私にとりまして、OB会を通してそ
れらの方々にお会いし、お話を伺
う、特に短期間ではありましたが
ヤマゲン会長のお人柄にふれさせて
頂きましたことは、大変貴重な財産
となりました。
あまりにも早すぎるお別れは残念
で仕方がありません。
ヤマゲンさんの立大広研OB会へ
の熱き想いは、今後の活動に大いに
生き続けることと思います。
山元さん御夫妻、御母堂様の御冥
福を心からお祈りいたします。
合掌

去る3月27日(月)に平成7年度分
のOB会費(年間3,000円)の
口座振替(自動引落し)をさせて
頂きました。
口座振替によるOB会費の徴収
にご協力頂くために、今回も会報
の発行に併せて、現在、現金(振
込)で会費を払って頂いている方
および未だ会費のお支払にご協力
頂いていない方には、勝手ながら
返信用封筒と口座振替の用紙を同
封させて頂きましたので、早速の
ご返送をお待ち申し上げておりま
す。次回の引落としは、平成8年
3月26日となります。
卒業年度によって、会費のお支払
にバラツキが見られます。もちろ
ん強制できるものではありません
が、広研OB会発展のためにも、
各年度幹事の方より一層のご努
力を期待しております。
会計幹事 大内



平成6年度

豊島区立勤労福祉会館

平成6年11月17日

OB総会



追悼号

さる5月29日山元清朗OB会長が肝不全にて逝去されました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



略歴

- S.11年 千葉県に生まれる。
- S.31年 開成高等学校より立教大学経済学部経営学科入学、広告研究会入部 理論部に所属。委員長就任。数々の新機軸を打ち出し今日の広研組織の基を築かれた。
- S.33年 株式会社入社。
- S.35年 取締役就任。
- S.53年 常務取締役就任。
- H.5年 広研4代目OB会長就任。立大広研、OB会の発展のため、ご尽力されました。

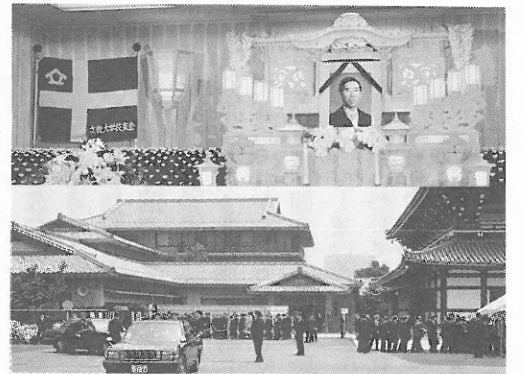
山元会長の逝去を悼む

社会学部教授・広告研究会部長
林 伸郎

山元清朗OB会長の訃報に接して、悲しみと驚きが相半ばする複雑な思いに駆られています。5月8日の奥様のお通夜の際に、山元さんご自身も体調がすぐれず入院中だと同じ、その後の経過を案じていましたが、もはや再びお会いできなくなっていました。心からご冥福をお祈りいたします。

わずか3週間ほどの間に、奥様、次いでお母様、そして山元さんご自身と重なる不幸に、ご遺族の悲しみも如何ばかりか、そのご心中を察しすると、お悔やみの言葉もない想いでいっぱいです。

勝呂さんのあとを承けてOB会長に就任された山元さんが会のより一層の発展のために大いに張りきっておられたのに、志半ばにして不帰の客となられたことは返す返すも残念



山元会長と御令室の逝去を悼む

前OB会長 勝呂 哲郎 31年卒

なことです。どうか残された会員の皆さん方が、山元さんの遺志を継いでOB会を盛り立てていって下さい。最後に、謹んでもう一度黙祷を捧げたいと思います。

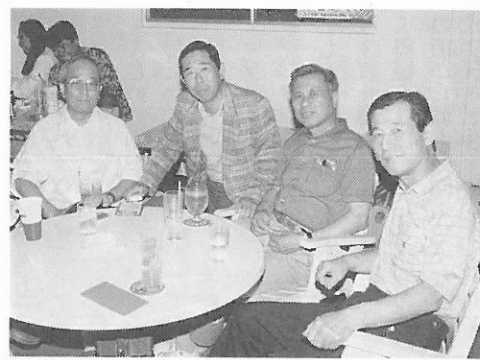
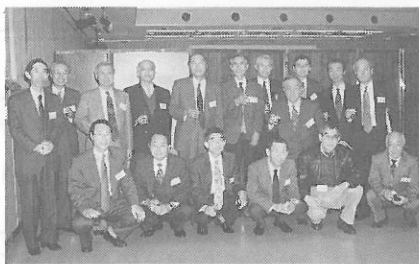
山元会長、御令室のたびかさなる訃報に触れ、私は驚きのあまり一瞬、動悸の止る思いがしました。山元会長の住いと私の家は、比較的近く、時に会長宅へ伺ったことがありました。会長御自慢の手作り、ビデオデッキ、館山の話等々、時間の過ぎることも忘れ夜遅くまで御邪魔した事もありました。山元会長は、緻密で、しかも繊細な方で、その行動力は、私にとっても、貴重な経験を残して下さいました。山元さんとは二月中旬、OB連絡会議でお元気なお顔を拝見し、出席役員の皆さんと談話されておりましたが、四月再入院の話聞き御見舞に何う事も出来ず、最後の別れになろうとは非常に残念で痛恨の極です。

ここに謹んで哀悼の意を表し、故人のご冥福をお祈り申し上げます。天界の御霊安らかに
報徳院智光清朗居士 合掌

訃報に接して

OB会副会長 戸田 茂 33年卒

山元OB会々長の訃報を聞き、余りにも早過ぎた死、奥様、御母堂の



キャンパスストア店内にて

後を追うように相次いで亡くなられたことに驚き動転しました。OB会にとっても、やっと山元会長のもと、軌道に乗り出した矢先だけに、誠に残念なことと云わざるを得ません。会長の意を酌んで私共役員、執行部が残された任務を遂行することが、せめてもの餞けではないかと思ひます。

故人は家族を愛する気持ちが人一倍強く、子供、孫の話をする時の、あの嬉しさを隠し切れない顔が思い出されます。特に彼の子息一朗君と私の愚息が小学生の頃、塾が一緒で同年の故もあって感慨深いものがあります。腕白盛りだった一朗君が、立派に成長し三つの葬儀で喪主代行、喪主の重任を果し、霊前に立つ姿を見て、思わず「頑張れよ！」と声をかけたくなる心境でした。一朗君も結婚され一児の父としてテレビ東京の事業局で活躍し、またお嬢様も既に結婚され2児の母として各々幸な立派な家庭を築かれているのが、せめてもの慰めであり、救い

山元を偲んで

同期代表 大内 道雄 35年卒

「元さん、どうしてこんなことになったんだ！」

余りにも早過ぎるし、やっとこれからという時期に本当に残念だ。あの日以来、一息つく度に必ず君の面影が彷彿として浮かび溜息が出る。

この1ヵ月の間に最愛の久美子夫人を亡くされ、大事にしておられたご母堂を失い、病の進行に併せて君の心労は如何許りであったのだろうか。

初7日の法要の折の講話で「58歳は余りにも若い、時間の長短ではなく、彼は彼の天寿を全うしたと考えるべきである」といわれたが、それにしても余りにも酷い。

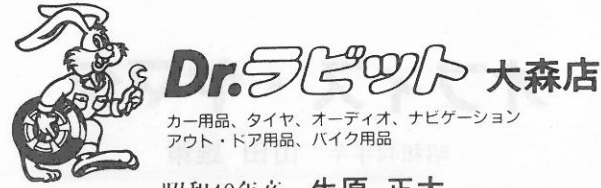
君との出会いは同級だった田中君から広告研究会への入部を勧められたことから始まる。

何にでも理論付けて話す君の話振りには、当初随分迷惑、煙たがられたものだ。

我々の同期でも、意見の食い違いは相当あったが、3年で君が委員長

皆様のご活躍をお祈りします

昭和35年度卒一同



Dr.ラビット 大森店

カー用品、タイヤ、オーディオ、ナビゲーション
アウト・ドア用品、バイク用品

昭和40年卒 生原 正大

〒143 東京都大田区大森中1-21-7
TEL(03)5471-7581 FAX(03)5471-7587

赤山堂 おこしもん木型

山田 幸男

昭和41年卒

〒470-01 愛知県日進町箕ノ手2-50

● editing and design Telephone : 03-3572-3034

QUICCI, THAIZOH

有限会社北沢製パン

昭和43年卒 佐藤 弘美

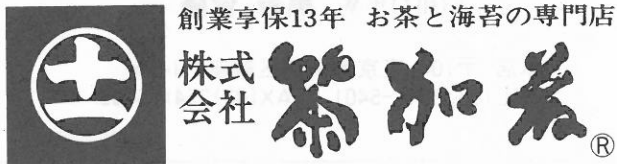
〒155 東京都世田谷区代沢5-29-16
TEL(03)3421-5787

福乃友酒造株式会社

昭和44年卒 一星 邦彦

〒019-17 秋田県仙北郡神岡町神宮寺字本郷野82-6
TEL(0187)72-4141 FAX(0187)72-4140

ふるさとの香、日本の味をお届けして270年……



創業享保13年 お茶と海苔の専門店

神奈川県下13店舗

昭和38年卒 加藤 宗兵衛

〒259-11 神奈川県伊勢原市伊勢原3-5-10
TEL(0463)93-2211 FAX(0463)93-2451

文具・事務機

株式会社志正堂

昭和43年卒 鈴木 正

〒175 東京都板橋区高島平9-17-3
TEL(03)3935-4183

株式会社モリタオル

昭和43年卒 森 和彦

〒116 東京都荒川区東日暮里1-3-4
TEL(03)3807-8101

有限会社兄弟舎ランドリー

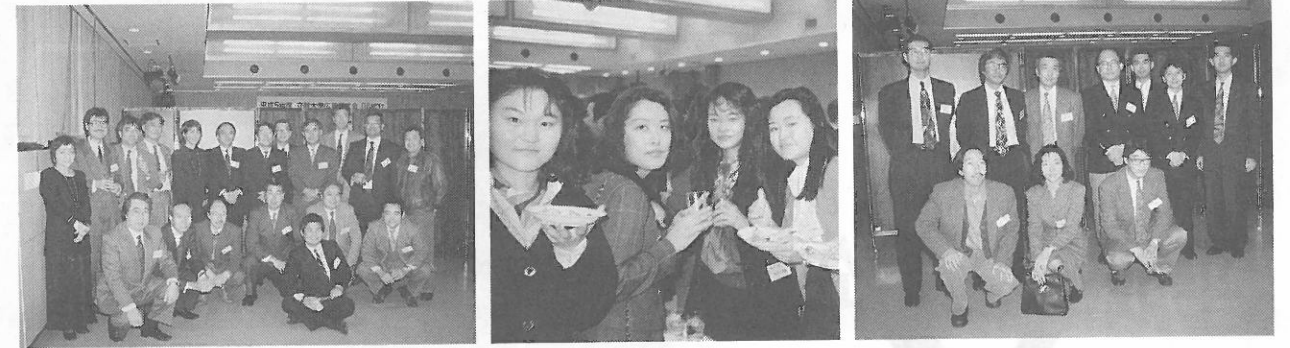
昭和43年卒 上沢 邦夫

〒153 東京都目黒区東山1-29-7
TEL(03)3713-5720

株式会社読売広告社

昭和44年卒 平川 清人

〒104 東京都中央区銀座1-8-14
TEL(03)3567-8111(代表)



Thank You

ST. PAUL AD. CLUB FOREVER

ご協力いただいた
OBのかたがた

トキワ塗装株式会社

昭和31年卒 勝呂 哲郎

〒153 東京都目黒区下目黒5-16-20
TEL(03)3792-6781(代表) FAX(03)3792-6846

Your best consultant for printing

BRAUN

昭和32年卒 菅頭 裕

〒110 東京都台東区台東4-25-6
TEL(03)3837-2131(代表) FAX(03)3837-2132

有限会社愛宕屋

昭和33年卒 戸田 茂

〒130 東京都墨田区千歳1-8-1
TEL(03)3635-0194 FAX(03)3632-4402



ヤシマ産業株式会社

代表取締役 藤井 揚子

〒154 東京都世田谷区桜新町2-26-14
TEL(03)3428-0311

塗装請負  看板工芸

有限会社梅津塗装店

昭和36年卒 梅津 安親

〒111 東京都台東区雷門1-13-14
TEL(03)3842-3941 FAX(03)3842-3942



昭和38年卒 市村 泰男

〒111 東京都台東区寿4-6-9
TEL(03)3842-0822 FAX(03)3842-0823